

市議会だより おおまち

192号

令和5年11月1日発行

9月定例会号



議会だよりライブラリーで
過去の議会だよりも見ることができます

特集 | 令和4年度決算審査報告…… 2～4ページ
| 令和4年度事務事業評価報告……4ページ
みんなのひろば……16ページ



表紙写真 |
新築公民館のおからこ撒き

今は珍しくなった新築棟上げでのおからこ撒き(餅撒き)がおこなわれた。「おじちゃん、こっち!」と、子どもたちの歓声が上がった。

撮影者：花見自治会

●表紙の写真を募集します!

くらし

地域振興バスの効率的な運行を

ふれあい号のルートから外れた集落で運行。中学生や高校生の通学、高齢者の皆さんの通院や買い物利用のため運行。

委員会審査

問 利用ニーズの把握、目標値の設定などはどのようにしているか。

答 目標値は設定していないが、運行形態の見直しや診療送迎についてなど、随時検討案件によって地域づくり委員会で検討。

提言 地域住民のニーズに応え、効率的に運行できるように取り組まれない。

観光

山岳博物館の駐車場利用について

委員会審査

問 駐車場の利用状況はどうか。

答 連休中などは、鷹狩山にトレッキングに行かれる方が利用され、駐車場が半分以上埋まるような状況がある。

提言 付属園整備などと合わせて、駐車場の増設は必要。鷹狩山トレッキング利用者専用駐車場は別に設けるべき。

まちづくり

国際芸術祭の現存する作品を活かしているか

国際芸術祭やアーティスト・イン・レジデンス等によって地域資源を活用した芸術創作活動、芸術文化に触れる機会の創出を図る。

委員会審査

問 温泉郷や鷹狩山の現存する作品はどのように活用されているか。

答 温泉郷では、観光協会を通じて開閉館されており、温泉郷の宿泊客は無料で鑑賞可能となっている。

提言 現存する作品を芸術振興や観光誘客、イベント等に絡め、有効活用されたい。

ふるさと寄付金 令和4年度1.4%増

ふるさとを応援したい、貢献したいという気持ちを寄附で実現。受けた行政は市内の地場産品を返礼品として選定。

委員会審査

問 事前に目標などは設定しているのか。

答 目標設定をし、寄付を集めている。返礼品の情報にもアンテナを張りながら、増やしていくことを検討していく。

提言 目標額は明確に設定を。地場の農産物や加工品を積極的に取り入れ、地域産業の底上げを。

令和4年度 市税収入、 1.6億円増の42億円

令和4年度一般会計決算は、歳入総額185億円余、歳出総額177億円余。

歳入については、自主財源の主力をなす市税が、前年度比3.9%増の42億7788万円、これに対し、依存財源の主力となる地方交付税は、前年度比3.8%減の62億4423万円となりました。

歳出では、前年度に比べ増加したのが、総務費(+13.8%)、教育費(+12.6%)、商工費(+4.1%)、公債費(+7.5%)等で、減少したのが、土木費(-22.6%)、消防費(-8.6%)、農林水産業費(-8.3%)災害復旧費(-60.7%)等です。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた地域経済の活性化策を重点的に行なった年となりました。

一般会計	歳入	185億円余
	歳出	177億円余
特別会計	歳入	37億円余
	歳出	36億円余

財政状況はどうか？

■財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率のどの数値も、国が定める基準の範囲内に収まっており、おおむね、健全財政を維持しているものとしています。

項目	4年度	3年度	2年度
財政力指数 1に近いほど財政力が高い	0.44	0.44	0.45
経常収支比率 財政に占める人件費などの経常経費。高いほど財政の自由度が低い	91.7%	89.1%	94.1%
実質公債費比率 通常見込まれる収入に占める借金返済額の割合	8.6%	8.1%	7.7%



特集 決算から課題を見える化！
 ■検証から提案へ
 9月定例会は「決算議会」とも言われ、特別委員会を設置し、前年度の決算審査と事務事業評価を行います。決算の検証経過と、次年度に向けた課題を探りました。

一般質問

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には、各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

令和4年度決算審査特別委員会報告

町川発電所の施設管理

無停電電源装置が作動しなかったため、運転を中止し交換を行った。

委員会審査

問 無停電電源装置の耐用年数、保証期間は。日常点検はしていたのか。

答 発電所開始以来十数年経過しており、交換をと考えていたところ、作動しなくなり急遽交換した。外部委託の定期点検は実施せず、各メーカーの耐用年数と実際の機器の状況を見ながら判断していた。



専門家による定期点検が必要。

光熱費が高騰する中 電気のプロバイダー契約の状況は

庁内の電気料は新電力エネルギーサービスプロバイダー契約を経て、より安価な電力会社への支払いとなる契約となっている。

委員会審査

問 新電力の電気代は高騰していることも聞くがプロバイダー契約の状況はメリットがあるのか。

答 2790万円余のメリットはあった。ただし令和5年度においてはメリットがでていない月もある。切り替えも検討していく。



光熱水費の高騰を踏まえ、経費削減を意識し、有利な電力会社の選択に努められたい。

議会における事務事業評価

議会では、事務事業評価として令和4年度に行われた事業を各分科会(各委員会)においてピックアップし、議論・検討の結果を、議会の総意として市長へ提言していくものです。市民サービスの向上に向けた一つの取り組みです。今回は下記のような評価結果となりました。

第1分科会 (総務産業委員会所管)

地域の活性化につながる事業を中心に検討した結果、4事業全部が「改善の上継続」となりました。

- ①市民バス運行事業 改善のうえ継続
②創業支援事業 改善のうえ継続
③山岳観光推進事業 改善のうえ継続
④農業マーケティング事業 改善のうえ継続

第2分科会 (社会文教委員会所管)

福祉・医療・教育等市民生活に直結する事業を中心に検討した結果、4事業全部が「改善の上継続」となりました。

- ①児童クラブ運営事業 改善のうえ継続
②付属園整備事業 改善のうえ継続
③ICT活用推進事業 改善のうえ継続
④認知症総合支援事業 改善のうえ継続

- 「改善のうえ継続」……対象や実施手法を改善して進めることが望ましい。
●「拡充」……予算規模や対象を拡充することが望ましい。
※詳細は市のホームページ大町市議会をご覧ください。



続く不祥事、組織をいかに立て直すのか!?

政友クラブ おおまちまちこ 大竹真千子

再発防止策として 具体策は

答 様々な世代ごと組織の在り方を真剣に考える場を設ける

Q 課題及び再発防止策は。

A コンプライアンスに対する意識の欠如や組織風土にも課題があるのではと考える。事案ごとに再発防止策を検討していくと共に、不祥事が起きた背景についても検証し、組



窓口では職員が市民の方から厳しい言葉をかけられる場面も

織としての構造的な課題はなかったか明らかにする必要があると考える。今後、庁内で若手、中堅、管理職などの世代ごとに、組織的な課題を考える場を設け、プロジェクトチームを設置し組織の在り方を検討する。
Q 職員の行動規範はあるのか。
A 現在策定していない。しかし、職員の服務や義務を定めるコンプライアンス指針等を作成する必要があると考える。策定にあたり、不祥事が起きない組織風土を構築するための方策として、心理的安全性が確保された職場づくりのために意識すべきことは何か等も、指針に含めることが重要であり今後検討していく。
Q 内部統制の再構築による不祥事の再発防止と職員のモチベーション回復に向けた市長の考えは。
A 第一義に、その行為を行った職員に非があることは自明のことで、コンプライアンス、法令順守の意識の欠如に尽きる。しかし、そういった状況を生む背景として、組織の構造的な課題もあると認識している。職場環境づくりは市で働くすべての職員が取り組むものであると共に、私自身がその先頭に立ち、働きやすい職場環境を築き上げるため、確たる信念をもって取り組んでいく。

用語解説

※1ストック効果 …施設の整備により、その地域の生産性、安全性や快適性を高め、衛生環境を改善するなど、生活の質を向上させる効果を長期的に生み出すこと



人口減少、活きる町づくりは現役世代の責任

峻嶺会 傳刀 健

松糸道、町づくりを活かせるか

答 ※1ストック効果最大化が重要。理解浸透を図る

Q 観光分野、松糸道の影響は。

A 観光アクセス時間の短縮と正確性、広域観光による選択肢の拡大、滞在時間延長による市内消費の拡大等が期待できる。
Q 滞在延長プラス10分の大町



松本城山公園から望む北アルプス。麓には長野自動車道が通る

の魅力発掘が重要。何か考えは。
A 市の施策だけでなく、民間事業者のモチベーションを上げる取組みを継続する。楽しめる大町、魅力ある町づくりを目指す。
Q 企業誘致や農業への影響は。
A 高速交通網にないことは、企業の物流や出荷に不利であり、立地に選定されない理由となる。農業においても品質維持や販路拡大への影響は大きい。一方、道路計画によっては、残地の不整形や耕作条件変更等が生じる。地権者の意見を伺い、できる限り希望に添うよう対応する。
Q 病院長に問う。高次救急医療機関へのアクセス性向上について、生命にどのくらい影響するのか。
A 脳内出血、くも膜下出血、肺炎、心肺停止、急性心筋梗塞等において救命率の向上が期待できる。一分一秒でも早いアクセスは治療や予後改善に大きな影響を持つ。
Q 周辺医療機関とのアクセス性向上は大町病院の役割に影響するか。
A 患者の容態に応じた医療の提供、役割分担が行えるようになる。在宅医療やへき地医療等、更に地域に密着した医療を実践できると同時に、通勤性の向上により医療従事者の確保にも期待できる。



新小学校、校地選定時の
図面が変更はなぜか

日本共産党大町市議員
宮田 一男

新図面が
示されていない
答 校地選定時に示した
図面は、一例である

Q 新小学校改修の進捗状況は。
A *2 プロポーザルの審査で、
設計業者一社を選定した。
Q 校地選定時の評価検討資料を
基に技術提案を受けているのか。
A 当初図面は参考資料として業



学校施設見学会 (旧第一中学校)

者に示したが、新たな案が示された。
Q 校地選定時にあたっては、低
学年棟の建設も大きな判断材料に
なったのではないか。
A 低学年棟の建設のみで決めて
はいない。現校舎で教室が足りるか
どうかで、増築も含めて示した。
Q まったく違う図面になって、
市民の理解は得られるのか。
A 低学年棟を外部に建設するこ
とだけが、決め手になったのではな
い。新しい提案を受けて、教育委員
会の中で決定し、意見をいただく。
[現行の健康保険証の存続を求める]
Q 大町病院におけるマイナ保険
証による資格確認の利用状況は。
A 従来の健康保険証が97・3%
でマイナ保険証が2・7%。
Q 市民は、現行の健康保険証を
使用しての受診が多数である。現行
健康保険証の存続を国に求めるべき。
A 適切な対応を国に求めてゆく。
[带状疱疹ワクチン接種に助成を]
Q 最近周りの方で、带状疱疹を
発症される方が増えている。ワクチ
ン接種への助成はできないか。
A 全国市長会で、早期定期予防
接種化を国に要望する決議をした。

用語解説

*2 プロポーザル方式
…建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、
その中から優れた提案を行った者を選定すること



活かせ民間活力
旧大町スキー場跡地

市民クラブ
中牧 盛登

大町スキー場、
宝かお荷物か
答 市にとって宝物である

Q 市の財産である旧大町スキー
場は、NPO法人中山高原森の風と
土地賃貸契約を結び15年が経過した。
現在は、主にオフロードコースとし
て活用しているが、市としてはどの
ような評価をしているのか。



旧大町スキー場跡地

A 全国的にも貴重なオフロード
競技・体験の場として、有効活用が
図られているものと評価している。
Q 大町スキー場跡地の年間使用
料、約13万円は適切な価格か。
A 適切な価格である。
Q 地元の利用者数は
把握していない。
Q この法人に対して、毎年事業
報告書の提出を求めているか。
A これまで事業報告書の提出は
求めていなかったが今後検討する。
Q この法人との土地賃貸契約は
15年目となるが、市や法人双方から、
特別な意思表示はなかったのか。
A 意思表示はなかった。
Q この法人には、きらり輝く協
働のまちづくり事業補助金として約
4百万円が支払われている。その後
の追跡調査はしたのか。
A 追跡調査はしていない。
Q この法人に対して、約4百万
円もの支援をしているのであれば、
市として、この法人と良好な関係を
築くことで何かが変わってくるので
はないか。
A 市の発展のために民間活力を
いかに導入していくかが重要となる
今後、この法人との連携を考えてい
きたい。



高温化や野生動物で、
居谷里水源は大丈夫か？

無所属クラブ
高橋 正

どうする、
出続ける大腸菌
答 湧水利用のため適切に
対処する必要がある

Q 大正時代から約百年。居谷里
水源の科学的調査はしたか。
A 平成元年 地質・地形等の
データに基づき、涵養域を調査した
記録がある。
Q 科学的調査をすべきである。



新しく柵が完成した居谷里水源。
まだサルの出入りは可能

水源祭で、集水樹のすぐ上部に踏み
込んで祭事をしたのは問題。何人
入ったか。
A 約百人入った。水源祭のやり
方を今後どうするか、考える。
[市の観光について]
Q これから市の観光をどう展開
するか。
A 従来の通過型から滞在型への
転換。多様化した観光客のニーズに
対応する。稼げる観光地・魅力ある
観光地づくりを目指す。
Q 温泉郷を今後どうする。
A 大町温泉郷の再活性化のため
「大町温泉郷未来検討会議」を設立し
た。宿泊施設の改修等により、魅力
の創出に取り組む。
Q 槍ヶ岳までの高瀬渓谷をどう
考え、どう開放するか。
A 自然の雄大さと、貴重なエリ
アと認識している。大きな可能性が
ある。関係省庁・関係機関、団体等
との連携で、高瀬渓谷の振興に取り
組む。
Q 「鷹狩山」など、頂上の木々が
邪魔をして山が良く見えない。他に
も東山観光でやるべきことは何か。
A 北アルプスの眺望が最大の魅
力。だが活かされていない。受け入
れ環境整備が必要と考える。



必要な公共施設の総量を
決めることが必要

政友クラブ
山本みゆき

老朽化した
公共施設の更新は
答 新規の整備は抑制。施設
の複合化により数を縮減する

Q 市民の皆さんが頻繁に利用す
る公民館や保健センターは老朽化し
ているが更新することが出来るのか。
また公共施設の総量を定める新たな
計画への見直しはどうか進めるのか。
更に市全体の公共施設の集約化や複



人口減少により税収、地方交付税
は減少する。公共施設の維持は

合化に向けての今後の展望は。
A 公共施設の縮減は将来にわた
る財政負担の軽減を図るうえで有効
と認識している。継続すること以外
を検討している41施設を中心に施設
利用者や関係者と調整を図り、早急
に取り組みを進める。また用途が重
複する施設の統合や複合化の検討が
重要であると捉えている。加えて県
など他の団体との調整も重要な視点
と考えている。利便性や市民サービ
スの向上、経済性等を総合的に考慮
し、公共施設全体の効率化を検討す
る。
[組織職員体制の見直し]
Q 新しい時代を築いていく必要
がある今、あらゆる問題に対応する
市の組織・職員体制も見直しが必要
ではないか。また市の事業の必要量
について見直しと、更に今後の組織
運営はどう行っていくのか。
A 持続可能な大町市を実現する
ため、市で働いている職員全員が生
き生きと積極的に業務に取り組んで
いけるよう、組織体制や事務事業の
見直しなど改革に取り組んでいく。

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。
ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。



六地区公民館の
バリアフリーの充実を

日本共産党大町市議員 栗林 陽一

エアコンの設置をしないのか

答 計画的にエアコンの導入を検討していく

- Q 公民館のバリアフリー化は、スロープが設置されており、バリアフリーになっている。
- Q エアコンの設置の予定は、計画的に導入していく。
- ※3ヒアリンググループの設置



公民館のバリアフリーの充実と、エアコンの早急な設置を

は。
A 障害者福祉の向上の為、必要な方の意見や、他の市町村等の状況も踏まえ検討する。

「大町市の道路行政について」

Q 松糸道路の課題はなにか。

A 肯定的な意見の他、疑問や他の要望もある。これらに 대응することが課題だと思っている。

Q 景観をブランドとしている市の施策と盛土は相容れないのでは。

A 詳細な設計段階で影響度合いも踏まえ県ともに対応を検討する。

「鳥獣被害の対策はどうか」

Q 温泉郷での熊の対策は。

A 周辺の草刈りの実施、鹿島大橋上下流の立木伐採を行っている。

Q 他の地区でも出没している。その時の対応策は。

A 緊急情報メールでの注意喚起、関係機関への情報提供、現場パトロールを実施している。

「市の不用品交換コーナーについて」

Q 市が紹介している場合、本来は無料が原則では。

A 当事者同士が納得した価格で交換している。

※用語解説

※3ヒアリンググループ

…難聴者の方の間こえを支援する設備で、マイクを通した音声を直接補聴器や人工内耳に伝える事ができ、発言者の声等をクリアに聞くことができる



LGBT法から
女性の権利を守れ

堀 堅一

女性の権利に配慮すべきだ

答 国の動向を踏まえあり方の検討を進める

Q 心は女性と言いつ法令上男性による市の女性トイレ利用について、女性の権利に配慮して運営すべきであり、女性の切実な恐怖感をしっかりと受け止めるべきだ。

A 法令上男性で心は女性の方が



性的マイノリティーへの理解増進法LGBT法可決。今後どうなる

ら利用の相談があった場合は、当面多目的トイレの利用を案内する。
Q 法令上男性のトランスジェンダー女性による公衆浴場の女湯利用について、市の見解はどうか。
A 今回のLGBT法を受け、6月に出示された厚生労働省通知で、男女とは「身体的特徴をもって判断するもの」とされている。性自認によるものではないとの取り扱いが示されている。
Q 白紙状態の小学生にLGBT教育はするべきでは無い。保護者の意見を聞く機会を設けるのか。
A LGBT教育については、保護者懇談会や、日々の連絡などを通じて保護者の意見を聞く機会を設けている。

Q 学校図書館では、今回のLGBT法を受けてどのような対応をしていくのか。また市立図書館の対応は。
A 学校図書館では、LGBTQに係る本や小説、絵本など10冊ほど導入されている。学校によっては、LGBTQに係る人権意識を高めるよう、読み聞かせも行われている。発達段階に応じて適切な認識が出来るよう努める。市立図書館での、LGBTQに関する図書については、貸し出しに何らの制限も行っていない。



認知症の人と家族が
安心できるまちづくりを

おhta 太田 昭司

認知症への偏見なくす努力を

答 市民が認知症を我が事として考えるよう啓発に努める

Q 認知症に対する偏見をなくし認知症の人が安心して暮らせるまちづくりをどのように進めるか。

A 認知症は誰もがなりうることで多くの市民が「我が事」として考え行動するよう啓発に努める。認知症サ



認知症の人が尊厳を保持し希望を持って暮らすことができる社会へ

ポーター、キャラバンメイトには「認知症カフェ」「サポーター養成講座」だけでなく、さらに新たな場で活躍いただけるよう努める。

「带状疱疹ワフチンの助成について」

Q 带状疱疹にかかる高齢者が増加している。大変な激痛をとまなつと聞く。4万円もかかるワフチンは大きな負担だ。市の助成を求めます。

A 予防医療は国が全国一律の制度とすることが望ましい。全国市長会を通じ国に早期の実現を求めます。

「歩きたくなる高齢者」について

Q 高齢者に優しい「歩きたくなるまちづくり」をどう進めるか。

A 歩行空間のバリアフリー化により高齢者が自由に外出でき、木々の「緑や潤いを感じる」「水に触れられ、「憩いの場」に気軽に集い、笑い、語り合い、交流が生まれるような幸福感に満ちたまちを思い描いている。このようなまちは高齢者のみならず、どの世代にも優しい「魅力あるまち」として愛され続けると考える。パークレットパーク等、憩いの場を整備し、点から線へと繋ぐことで、まちの個性と魅力を生み出す取り組みを進める。



地域の特色を「文化芸術振興計画」に活かす

なかむら 中村 直人

文化振興計画に地域性を活かす

答 当市の芸術文化関係者を中心に策定委員会を設置する

Q 大町市文化芸術振興条例（仮称）とは何か。

A 市の文化芸術の特性を活かす地域を創造するための条例だ。

Q 当市には沢山の日展作家がおり、また市民の文化サークルも非常



毎年行われる文化祭。地域の文化活動は当市の文化資産であり宝だ

に多い。劇団四季との繋がり、芸術祭の存在、クラフト作家によるギャラリーも存在する。豊かな当市の文化背景を計画にどう反映するのか。
A 市独自の文化、その成り立ちを反映するため、具体的な行動計画の策定も同時に進める。

Q 文化芸術と一言でいっても、観光への利用、教育との関係、健康寿命の伸長など、様々な側面がある。課を超えた連携をどう考えるか。
A 関係する部署と横断的な連携が図られるよう努める。また計画策定にあたっては他分野の声も反映するように策定委員会を構成する。

Q 先生たちの働き方改革が進み、学校での部活動の外部講師化、地域化が進む。地域の文化サークルと学生連との連携を作れないか。
A 計画策定の中で検討していく。

Q 文化施設も観光に活かすべきだ。文化会館に市外からの合宿利用等の予約があった場合、市内宿泊へ誘導できないか。
A 合宿が集中する7・8月のうち、特に土日は大町市民の利用も多く、調整に課題があるが、提案を施設運営の参考としていく。



峻嶺会 一本木秀章
いっぽんぎひであき

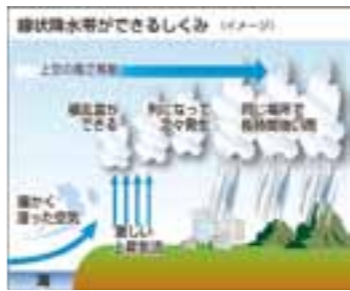
今年の異常気象は
災害級！

農業への影響と 災害への対策は

答 異常気象情報の早期予測
と市民への情報伝達の徹底

Q 今年の異常気象による農業への
影響と対策は。

A 今年の大町市の農業は霜・雪・
干ばつ・高温障害などの影響で農作
物に大きな被害を受けた。被害を受
けた農業者への融資を行う金融機関



線状降水帯はどうしてできるのか
(気象庁)早めの対応を

に対して利子助成をしている。また、
異常気象の対策としては、気象状況
を早めに情報収集して、作付け計画
を作成するなど、県農業農村支援セ
ンターや農協と連携し対応策につい
て検討する。霜被害に効果のある防
霜ファン導入の支援策として、国の
補助制度や市の農業等総合支援事業
の活用がある。

Q 有機栽培を推進するには良い
施策や助成はあるのか。

A 有機栽培の取り組みを行っている
組織に対し、国の環境保全型直接
支払事業を活用しての補助金交付や
有機JASの認定に係る経費の一部
を補助している。加えて、国からの
有機農業に係る有効な補助制度につ
いて、農業者に周知を図る。

Q 異常気象が起す災害に対す
る防災・減災対策は。

A 防災情報を伝達するために戸
別受信機の配備が有効である。戸別
受信機を全戸に無償で配布すること
は困難である。市の補助制度を活用
して多くの方に設置戴けるよう努め
る。土砂災害警戒区域のタイムライ
ンの策定が必要である。

Q 土砂災害警戒区域内のインフ
ラは把握できているのか。

A 災害協定を締結している。



市民クラブ 小澤悟
おさわ さとる

木崎湖市営設備を
開放せよ

木崎湖周辺 市営設備の管理は

答 市営駐車場・公衆トイレ・
シャワー室・棧橋等がある

Q 市営駐車場に車を止め、小々
い子供が水に親しむ事が出来ない、
という声があるが。

A 管理を自主的に行っている。
キャンプ場の方に事情を聞いている。
確認のため、もつ一度聞くが



現在無料市営駐車場

木崎湖市営駐車場の管理者は誰か。

A 管理者は、観光課所管である。

Q 駐車場の業務委託をしている
方が、自主的に管理しているのか。

A 委託料は払っていないが、管
理をお願いしている。

Q 木崎湖市営駐車場の利用方法
等の看板はあるか。

A 駐車場の安全面や適正な管理
運営に向け、看板の設置を検討する。

Q 過去10年分の木崎湖市営駐車
場の売り上げと業務委託料は。

A 使用料収入合計は二二八万円
余で委託料は二七五万円余で令和3
年度から観光振興の一環で無料開放
されている。

Q 駐車場としての売上は黒字で
はない状況か。

A 四六万円余の赤字だ。

Q 木崎湖市営設備が、私物化さ
れているように見えるが。

A 疑念を持たれている利用者か
いることも確認している。事業者と
話し合い、利用しやすい形にする。

Q 木崎湖安全ルールの制定は。
関係者と話し合い、条例の必
要性を含め研究していく。

Q 市営駐車場・市営トイレ・市
営棧橋は誰のために作られたのか。
A 市民・観光客の方のため、管
理は当然大町市が行っていく。



植松悠一郎
うえまつ ゆういちろう

効果は認めるが、やらない？
そのころは？

市における 観光業の位置づけは

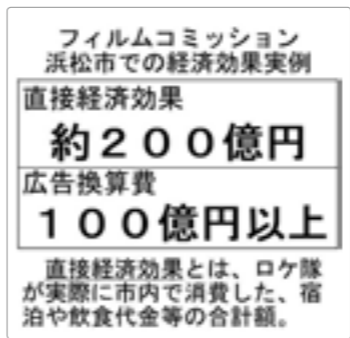
答 持続可能な発展に欠かせ
ない要素と位置づけている

Q 市民はこう感じているのか。

A 観光施策の充実を求めている。

Q 観光振興計画の重点プロジェクト
は何か。

A 5項目あるうちの2つ目に観
光プロモーションの推進がある。



市内でも実績多数。ロケ誘致に力
を入れるべき

Q 観光業におけるプロモーション
の重要性はどんなものか。

A 観光客を呼び込む重要な取組
フィルムコミッションの立ち
上げは可能か不可能か。

A 不可能ではない。

Q 大町とフィルムコミッション
は相性が良いのか、悪いのか。

A 非常に相性はいい。

Q どんな効果が期待できるのか。

A 撮影時の飲食、宿泊、観光誘
客など一定の経済効果に繋がる。

Q すぐにもフィルムコミッ
ションを立ち上げるべきではないか。

A これまでの実績からは、効果
が見えにくく、デメリットもあるこ
とから早期の立ち上げは困難。

【小中学校の課外授業について】

Q 課外授業にアウトドアアク
ティビティを積極的に取り入れられ
るよう教育委員会が取組めないか。

A 各学校への情報提供に努める。

【一般質問について】

Q 一般質問における検討する趣
旨の答弁への対応状況の公表を制度
化できないか。

A 研究していく。

A 環境アクセスは、一定の規模以
下なので行わないものだ。

Q 県が示した「西ルート案」はそ
の選定に当たり、周辺の住民に及ぼ
す景観や生活環境に与える影響につ
いてまったく考慮されていないこと
が明らかになった。これで、このルー
ト選定に明らかな「欠陥」があること
がはっきりした。市長の認識を聞く。

A 50回近くの説明会を開き、一
定の合意形成・理解は得られた。

Q 住民は「松糸道路の選定に当
たっては、影響を受ける自分たちの
意見要望を十分に汲み上げてルー
ト選定してほしい」と「一切」に願っ
ている。市長は、こうした住民の「声」
を、「いつ」、「どの」ような方法で聞
くつもりか説明を。

A オープンハウスでは72%の方
が理解したと答えた。

Q 6月議会で、「安曇野市の県
ルート案の見直し、ルートの変更を
実現した」例を取り上げ市長の見解
を求めたが「現段階では、市が県に
現行ルート帯案の再検討を求めるこ
とは適切ではない」と答えた。では、
「どの段階で求めることができる」と
判断しているか説明を。

A 西ルート変更の余地は無い。



松川村までは環境への影響が最小の
高瀬川右岸のルートだ。まず検討を



将来の子供達への子育て・就学支援の充実を

政友クラブ 西澤 和保

奨学金制度の見直しを

答 評価基準や制度の見直しを、必要に応じて検討したい

Q 進学する学生の半数程が何らかの奨学金を利用しているが、市の奨学金事業の目的は。

A 成績優秀で経済的な理由により就学が困難な生徒または学生に、貸与又は給付するもので、セーフ



子供達が健やかに、将来的に大町に住み続けたい手厚い施策を

ティーネットとしての役割を担っているものもある。

Q セーフティーネットの役割という制度としては、問合せや利用実態が少ないのではないかと。周知の方法などに問題は。

A 利用実態が低いのは利用者がさまざまな奨学金と比較した上で、他の奨学金を選択することが利用実態の低さとなっている。周知については学校関係者への情報提供も含め周知に努めたい。

Q 学業成績平均4.0以上等、規則のハードルが高すぎるのではないかと。一芸に秀でた特色ある人材や将来の活力ある人材への支援にも奨学金制度のあり方を検討できないか。

A 将来の優秀な人材確保のためには、関係機関と連携も含め、市として奨学金制度の見直しを検討したい。

出産祝金の増額はできないか

Q 現在の出産祝金を、第1子から10万円へと引き上げることほできないか。

A 県内自治体の中でも高い水準である事から現時点では難しいが、結婚・出産・子育てを重点施策として位置づけ、なおいを尽くしたい。

議員が質した9月定例会

こんなことが決まりました！

議案第49号 令和5年度大町市一般会計補正予算

結果 全会一致で可決

防災重点ため池の地震耐性を調査

議案の概要 農業用施設管理事業 1600万円。地震耐性評価業務の委託料

委員会審査

Q 市内すべてのため池が対象なのか。

A 市内25ヶ所のため池のうち、令和7年度までに防災重点ため池に指定された8ヶ所を評価対象とし、令和6年度に行う予定の2ヶ所を前倒して行う。ため池の堤体のボーリング調査を行い、土質調査の結果をもとに設計対象地震動に対して安全性が確保されているか解析し評価する。農村地域防災減災事業補助金を活用するもので、補助率10分の10を予定。

委員会審査

議案の概要 認定こども園運営支援事業における、送迎バスに設置する、子どもの置き去りを防止する安全装置

送迎バスでの子どもの置き去り防止を

Q 認定こども園運営支援事業における、送迎バスに設置する子どもの置き去りを防止する安全装置の詳細は。

A バスの後部に設置し、エンジン停止時にブザーが鳴り、ブザーを止めるために運転手がバスの後部まで移動する必要があり、バスを離れる際には必ず社内を確認することとなり、子どもの置き去りを防止することに繋がる装置である。

議案第53号

令和5年度大町市水道事業会計補正予算

結果 賛成多数で可決

業務改善に向け、窓口業務を民間委託へ

議案の概要 窓口業務を、令和5年度から令和10年度の間、民間委託するための委託料を債務負担行為として追加

委員会審査

Q もたらされる効果は。

A 民間の活力を活かし市民サービスの維持向上に努めながら、戦略的な経営対策に職員が取り組める環境を構築し、事業の効率化、人員コストの削減を図ることで業務改善に繋げられる効果があると考ええる。

議案第53号

令和5年度大町市病院事業会計補正予算

結果 全会一致で可決

病院会計黒字化医療機器の更新へ

議案の概要 大町病院、医療機器の更新。患者の検査での負担軽減に。

委員会審査

Q 更新する医療機器の詳細は。

A 生化学分析装置は採取した血液や尿を分析する装置で、1時間あたりに検査で扱える件数が従来の装置に比べ1.5倍となる。眼底撮影装置は、瞳孔を開くための目薬が不要となるため、検査後、患者がすぐに運転しても支障がないものである。

大町市連合自治会との意見交換会

令和5年7月12日(水)、大町市連合自治会の皆さんと意見交換を行いました。改選後、最初の意見交換ということもあり「議員定数・報酬」については自治会の皆さんの関心が非常に高く、様々な意見が交わされました。



7月12日市役所にて意見交換会を開催

議案の審査と採決のながれ 本会議で議案の提案↓各常任委員会に付託(審査を任せる)↓委員会審査↓本会議で審査内容報告↓採決採決前に、議案に対する賛否について討論で意見を述べることが出来る。

次ページは、討論と審議結果



令和5年8月臨時会および9月定例会 提出案件の審議結果

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」
「一部不採択に賛成は△」で表示
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案件	議員													結果			
		日共	民進	共産	維新	政友	公明	無	無	無	無	無	無	無				
議案第53号	令和5年度大町市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	令和4年度大町市一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第59号	令和4年度大町市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決認定
議案第61号	令和4年度大町市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決認定
議案第64号	大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 原案可決
陳情第10号	「健康保険証」の存続を求める意見書提出について	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長 不採択
陳情第11号	私立学校に対する公費助成を求める意見書提出について	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	一部不採択
陳情第12号	保険証の廃止を中止するよう求める意見書提出について	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第13号	現行の健康保険証を残すよう求める意見書提出について	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
議事第5号	私立学校に対する公費助成を求める意見書	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議事第6号	マイナ保険証に関する十分な調査及び対策を求める意見書	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

◇全会一致で同意・可決・認定・採択された案件

議案番号等	案件	結果
議案第43号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第44号	令和5年度大町市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第45号	大町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第46号	大町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第47号	大町市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第48号	大町市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第49号	令和5年度大町市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第50号	令和5年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第51号	令和5年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第52号	令和5年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第54号	令和5年度大町市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第56号	令和4年度大町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第57号	令和4年度大町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第58号	令和4年度大町市公営簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第60号	令和4年度大町市温泉引湯事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定
議案第62号	令和4年度大町市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定
議案第63号	令和4年度大町市病院事業会計決算の認定について	認定
陳情第14号	通学路の安全確保に関する陳情	採択

9月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。

議案第55号

令和4年度大町市一般会計歳入歳出決算の認定について

原案に反対

今般のハラスメント事業や連続する不祥事は、長期にわたる市政運営の中で生まれた職場風土の退廃であり、市長の責任は重大である。
(宮田 一男)

松糸道路ルート帯案の比較評価では「一人目線の眺望・確認」で「評価を行わず重要度0.0%」であり、市民は到底納得できない。(大和 幸久)

原案に賛成

財政指標は堅調。企業誘致2社。移住者の増加、コロナ禍で支援策を展開した産業も盛返す。今後は市政の信頼回復に取り組まねば。
(中村 直人)

実質収支額は黒字。実質公債比率は微増だが学校教育施設整備によるもの。将来負担比率も改善し良好。健全財政が維持された。(大竹 真千子)

議案第64号

大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案に反対

理事者給与減額議案の一議会連続提出は、異例事態だ。市長は、市民に分かりやすく理解されるような処分を自らに科すことを求める。(宮田 一男)

原案に賛成

他市の例と比べ大きな減額処分。信頼回復への道は半ばだが、問題職員への懲戒免職や再発防止への計画的な取り組みを評価すべき。(中村 直人)

陳情第11号

私立学校に対する公費助成を求める意見書提出について

原案に賛成

私立学校は年収590万円以上で、27万7200円の負担差がある。教育の機会均等という視点からも格差是正は必要であり実現を。(大和 幸久)

陳情第10号

「健康保険証」の存続を求める意見書提出について

原案に反対

医療現場も人手不足の為デジタル化は急務。マイナ保険証取得困難者には資格確認証が発行され、医療提供は何ら変わることはない。
(西澤 和保)

原案に賛成

マイナ保険証では医療機関が診療情報を共有することで的確な医療に繋がる。また医療事務、行政事務の人手不足を補う省力化が進む。
(山本 みゆき)

原案に賛成

健康保険証の存続は、医療現場の声、マイナ保険証の市民の使用実態、新聞への牛越市長の見解からも求められている。(宮田 一男)

原案に賛成

マイナカードをめぐるトラブルが相次ぎ不安が増すなか、保険証で今まで通りの医療が継続できる。弱者にやさしい保険証の存続を。
(大和 幸久)

陳情第12号

保険証の廃止を中止するよう求める意見書提出について

原案に賛成

マイナ保険証には多くのトラブルが発生している。現在の保険証を残すのが、解決策だと考える。
(栗林 陽一)

原案に賛成

現行の健康保険証を残すよう求める意見書提出について

原案に賛成

政府は従来の保険証の持参も求めている。現行の保険証を残すのが最大の解決策である。
(栗林 陽一)

原案に賛成

現行の健康保険証を残すよう求める意見書提出について

次ページは、みんなのひろば

みんなのひろば

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。
今回は、水稻農家のみなさんに、農業への思いを聞きました。

- ① 何を作っていますか？
- ② 農業への思い
- ③ これから新しく取り組みたいこと



奥原 弘和さん
(常盤)

- ① 水稻を22ヘクタール。いとこと二人で共同経営で営む。
- ② 親が営んできた米作りを引き継いでいきたい。
- ③ より良い品質や安定した収量をめざして日々研鑽を重ねていきたい。



傳刀 純司さん
(平)

- ① 水稻7ヘクタールを営む。
- ② 兼業経営だった親の農業を引き継いでいきたいと思った。
- ③ 隣接するコイン精米所の経営と合わせて、米の直接販売を中心に専業経営を軌道に乗せたい。



宮田 知尚さん
(大町)

- ① 水稻22ヘクタール、リンゴ1.4ヘクタール。
- ② 市内の農地を守るために受託作業をしている。おいしいお米、おいしいリンゴを作りたい。
- ③ 販売先の開拓・スマート農業に取り組みたい。



宮田 秀行さん
(大町)



藤巻 光生さん
(常盤)

- ① 水稻15ヘクタール。
- ② 地域の農業を守りたい。
- ③ スマート農業に取り組み、園芸との複合経営をしたい。

あとがき、
議員になり、初めての当欄の原稿で「北アルプスの雪渓が、8月にはすべて溶けて無くなる」現象をあげ、地球温暖化をテーマにとりあげた記憶がある。
あれから四半世紀、今年の記録的な猛暑は地球温暖化の脅威を世界に警鐘した。大町のあらゆる施策を「二酸化炭素削減」に向けて、英知を尽くす時ではないか。
(大和幸久)

次回12月定例会予定

- 開 会 11月28日(火) 午前10時～
- 一般質問 12月 6日(水)～8日(金)
- 最 終 日 12月19日(火) 午前10時～ 討論・採決

傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は議会棟 2 階の議会事務局で申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

本会議の
生中継

大田市議会 議会中継

議会だより編集委員

- 【委員長】 一本木秀章 【副委員長】 大和幸久
【委員】 植松悠一郎 堀堅一 中村直人 栗林陽一 小澤悟 山本みゆき

